令和 7 年 1 月 29 日

ICT 推進課長　竹下正人

ICT 推進課　令和 6 年度報告

ICT 推進課の重点目標：ICT 機器による授業と業務の効率化・内容の充実・情報の共有

1. Classi 運用についての自己評価

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・ID/PW 管理（生徒・保護者・教員） ・生徒の学校生活・日常生活・生活環境などの情報の管理（成績・学校における生活状況・保健関係など） ・生徒・教員間、教員間、学校・保護者間の連絡や情報共有 ・アンケート ・朝学習 ・いじめ投書箱 ・毎月の学校納入金額の個別確認

ICT 推進課だけでなく多くの分掌が Classi をそれぞれの用途において活用している。Classi はその特徴をしっかり把握して上手に運用すれば大変便利なシステムである。校内グループに既読・未読機能が追加されたり、本校ではいじめ投書箱として使用しているところのデジタルで申請書を提出できる「提出・申請フォーム」機能の追加が追加されるなど、Classi 自体も毎年進化している。残念ながらいまだ有効に活用できていないのが学習トレーニングの機能である。生徒がドリル形式で学習に取り組むことのできる機能なので、できたら有効活用したいところである。総じて Classi について今後も有効な運用を目指したい。

2. 電子黒板・プロジェクターなどICT機器管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・より効果的なICT機器管理・運用を目指す

各教室の電子黒板および移動式モニター・プロジェクターはおおむね良好に運用されている。電子ペンの位置の調整やスクリーンの破損対応や消耗品のランプ交換や教員用タブレットと電子黒板プロジェクターの接続設定など、さまざまな保守管理を業者に委託することなく、ICT推進課の教員が行うことにより経費削減と同時に機動的な対応ができている。

ただ、導入からすでに6年が経過しており、現在の電子黒板プロジェクターが今後どのくらいの期間使用できるか不明である。今年度は1教室で電子黒板プロジェクターの光学エンジン故障が発生した。電子黒板プロジェクターの故障は授業に支障が出るため、リプレイスなど未然に対策を講じる必要がある。

3. 教員用タブレットの運用について

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・より効率的なタブレットの運用を目指す

現在教員用端末として日常業務用のWindowsタブレットと、さらにクラス担任には生徒と同様の端末であるiPadが配布されている。それぞれの場面においておおむね良好な運用がなされているものと把握している。２０２５年に現在のWindows10のサポートが終了するため、Windows11への移行を順次実行しつつある。また、２０１８年度に導入されたタブレットはすでに導入から5年が経過しており、バッテリー含めて少しずつ劣化が見られるようになっている。一般論として個別のタブレット端末の運用期間は5年が想定されているとのことである。使用不可となった端末が発生することにより教員用タブレットが不足して授業や業務に支障をきたすことがないように、教員用端末のリプレイスを予定して計画的に実行していく。

4. 校内 Wi-Fi 運用

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
2	・より安定的で効率的な Wi-Fi の運用を目指す

本校の Wi-Fi は２０１８年度に整備されたが、整備当初よりも接続端末数が圧倒的に増えたために日常的にネットワーク不調が見られていたが、WAN 側の回線が年度内に改善されたことにより Wi-Fi 環境がだいぶ改善された。ただ、それでも生徒用端末接続時に接続の問題を抱える端末があるため、今後 firewall や L3・L2 スイッチや LAN ケーブル含めて校内のネットワーク環境を見直す必要があるかもしれない。

5. 校内 Google Workspace for Education 運用・管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・アカウント管理・設定 ・Google 関連アプリの導入と活用

教員・生徒用アカウント発行・運用・管理を行っている。授業支援やその他さまざまなツールとしてすこしずつ利活用が浸透している。今後もさらなる運用の向上を目指したい。

6. 生徒用タブレット端末 iPad 運用・管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・生徒用 iPad 導入・運用

生徒用 iPad について、新入生保護者への周知・集金・端末配布・運用開始、そして各学年の iPad 運用やアプリ管理は各担当者の尽力により良好であった。また、卒業に向けた 3 年生の iPad の運用体制移行も担当者の尽力により良好であった。今の生徒にとってタブレット端末は普段から使う文房具などの一種となっており、教員が特に指示をしなくても各自で利用方法を考えて使

う道具となっている。iPad の使い方など生徒がお互いに教えあうことにより、効果的な活用が見られる。

ただ、今年度も iPad の破損が見られた。これは制定品の一つとして生徒に持たせているキーボード付きケースのキーボードが重いため生徒がキーボードを外した状態で持ち運び、その途中で画面が破損していたためである。この点を鑑みて、今年度は制定品として新入生に持たせるものをキーボードなしのケースに変更した。

また、クラスによって iPad の使用状況に隔たりがあり、授業で多く使っているクラスとあまり使っていないクラスの差がある。さらに、いまだに朝学習・朝テストに iPad ではなく個人のスマートフォンを使用しているクラスが見られる。このようなクラスでは朝学習・朝テスト自体の取り組み状況自体も悪いように見受ける。これは、個人のスマートフォンには SNS アプリやゲームなどがインストールされている場合が多くて学習には適していないため、学習用教材として別途 iPad を生徒に持たせていることの意義を教員が十分に理解していないことに起因すると考えられる。iPad 導入の意義を教員間にさらに浸透させる必要がある。

現在は小学生もタブレット端末を使って大型モニターでプレゼンテーションを行っている時代である。教育における生徒個別端末はその長所・短所をしっかり押さえて有効活用することが大切である。生徒用 iPad の活用により、さまざまな授業デザインや活動が可能となっている。それにあわせた授業デザイン・HR 活動など、教員の意識の啓蒙が必要である。

7. 校内 Microsoft Office 365 A1 運用・管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・アカウント管理・設定

教員・生徒用アカウント発行・運用・管理を行っている。一部に PW を忘れてログインできなくなる生徒がいるが、学内でのアカウント・パスワードを一本化する方向によりログインの問題はおおむね解消されている。ただ、ios とマイクロソフトのアプリの相性の問題なのか、一部に Power Point を使用できない生徒がいて、いまだ解決できずにいる。key note で代用するなどして

いるが、将来社会に出てからのことを考えると卒業までに生徒はマイクロソフト office の Power Point とグーグルスライドをどちらも使えるようになったほうが良いと思われる。生徒たちは小中学校でグーグルスライドの使い方を習得しているようなので、高校では Power Point の使い方を習得させたい。そのためにこの問題は早急に解決したいところである。

8. デジタル採点システム youmark personal 導入・運用

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・教員用アカウント管理・設定

昨年度導入されたデジタル採点システム youmark personal について、今年度は一時的に有料版をトライアルで使用してみた。実際に使用してみた教員の感想としては、採点業務が効率化されて生徒による不正も未然に防止することができるため、大変好評であった。新システムの導入・運用・管理は管理者にとっては大変な負担であるが、ICT 推進課内の担当者の尽力によりスムーズに運用できている。来年度はより良い運用を目指したい。